

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり			30年度事業・施策評価結果	責任者	港営部 管財課長
施策名	良好な港湾空間の形成					
事務事業名	公有地の管理					連絡先 連携課
目的	対象(誰・何を)	公有地、緩衝緑地				事業 期間
	意図(どうい う状態に したいか)	適切な状態で管理します。				
概要	公有地、緩衝緑地を適宜巡視し、良好な状態を維持します。				根拠 法令等	
令和元年度の実施予 定	月2回の巡視を行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	月2回の巡視を行い、不法投棄の連絡等があった場合、すみやかに対応を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	7,814	2,605	令和元年度から事業費の考え方を見直したため、事業費は増加しています。
人件費	千円	9,190	9,219	9,174	9,194	
合計	千円	9,190	9,219	16,988	11,799	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
巡視の回数(回)	目標	48	48	48	48	管理第一及び第二係が月2回巡視を実施しています。	
	実績	48	48	48			
(単年度管理型)	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
不法投棄の通報等 への対応率(%)	目標			100	100	公有地、緩衝緑地にかかる不法投棄の通報等への対応率とします。	
	実績			100			
(単年度管理型)	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	巡視の回数及び不法投棄の通報等への対応率は目標値どおりとなりました。引き続き、不法投棄への対応(ごみの回収、看板による注意喚起等)を行い、抑制を図ります。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 公有地の貸付料収入は貴重な自主財源であり、良好な港湾行政を運営していくうえで貸付地を適切に利用できる状態に維持することは、名古屋港の利用者ニーズを踏まえても必要なことです。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 多忙な業務の中、月2回の巡視はコスト面からも必要最小限の回数となっています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	引き続き、公有地・緩衝緑地を適切に管理する必要があるため。
取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
課題			2年度以降の取組
不法投棄の抑制を行っていくことが必要です。			引き続き巡視を行い、不法投棄の対応を行います。